



地域と医療のコラボレーション

ハーモニー

Harmony ♪

第11号



2008 / JANUARY

発行 / 医療法人社団協友会 東大宮総合病院

編集 / 広報委員会

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614

<http://www.higashiomiya.or.jp/>

特集

平成二十年 年頭所感

明けましておめでとうございます。昨年の新年号には病院を明るくリニューアルしますと書きましたが、いまだ目標通り実現しておりません。2年越しで今年には完成させる予定です。しかしながら、病院の周辺はずいぶんと変化しました。医局や、健康管理課（人間ドック）、訪問看護ステーションなどが新しくなりました。病院のコンピューターも入れ替え、少しずつ近代化を図っております。

今年、当院が大きく変わるのにはDPC（診断群分類包括評価）という診療報酬包括払い制度を取り入れることです。薬漬け、検査漬けと言われた出来高制度からの脱却です。医療費抑制の為に出来た制度ですが、日本の大病院の殆どがこの制度を取り入れることになっていきます。この制度のために粗診粗療にならないようにしっかりと診療内容の質を維持していきたいと思えます。

東大宮総合病院は上尾中央医科グループの中でもトップランクの経営の質と医療の質とのバランスがよくとれている病院です。またグループ内の他の病院の模範となり、モデルとして注目されています。しかし、ここで禰を締めなおす必要があると考えております。絶好調にかま

けて慢心にならないよう、この時こそ私たち東大宮総合病院の目指すべき姿を見つめ直したいと思えます。

今年には鼠年、私の干支で、私も「還暦」を迎えます。癌や生活習慣病が気になる年齢です。東大宮総合病院もメタボ君にならないようダイエットと運動には気をつけたいと思えます。

病院理念 愛し愛される病院

～ 行動指針 ～

1. 私たちは、わかりやすい言葉で説明します
2. 私たちは、理解と同意のもとで正しい医療を提供します
3. 私たちは、誤りを素直に認め直す努力をします
4. 私たちは、患者さまの満足で提供した医療の質を評価します
5. 私たちは、診療経過を正確に記録に残します
6. 私たちは、患者さまの訴えや要望に応えるよう心がけます
7. 私たちは、笑顔を忘れず優しい言葉で接し、迅速な対応を心がけます



東大宮総合病院
院長 坂本 嗣郎

診療科だよ

脳神経外科



脳神経外科 部長
高倉 周司

明けましておめでとうございます。当院の脳神経外科が手術も可能な脳神経外科に復活して、2年が過ぎようとしています。あまり良いことではないかもしれませんが、患者さんに恵まれ、幸い大過なく、年間一〇〇件以上の手術を行っている現状です。市中病院なので、大病院などの研究機関のような耳鼻咽喉科や眼科と共同で行う大手術や、手術だけでは良くならない悪性新生物(悪性脳腫瘍)などの手術は得意ではありません。その代わりに一刻を争うような疾患(脳卒中、外傷など)、さらに脳や神経に限局する良性疾患(良性脳腫瘍、神経管症候群など)を専門としています。特に脳卒中は、高齢化社会の影響で、重要な治療対象となります。しかし、全ての脳卒中が手術適応になるわけではなく、実際は殆どが保存的治療しかできないのが現状です。では、どのような手術があるか、紙面を借りて紹介いたします。

急性期脳卒中手術

1. 脳内出血を取り除く手術

- a、直接、開頭(頭蓋骨を開ける)して、出血した血液を取り除く手術です。出血が大量で、放置すると危険な状態(脳ヘルニア)の患者さんに限ります。
- b、定位的腫瘍吸引除去術(駒井式定位的脳内血腫吸引除去術)といって、1cm以下の小さな穴を局所麻酔で開け、そこからストローのような針をさして、血腫を吸引取ります。血腫量が20ml以上あり、麻痺や意識状態が少しずつ悪くなってくるような患者さんが適応です。

2. くも膜下出血の手術

くも膜下出血の場合、80%は脳動脈破裂によるものです。他に、動静脈奇形という奇形があり、そこから出血するものもあります。手術方法はいくつかありますが、基本的には出血源を止める手術、あるいは、出血源に流れ込む血管を止める手術になります。流れ込む血管を止める手術を行う場合は、かわりにバイパスを作る手術と併用することがあります。

3. 脳梗塞の脳浮腫に対する手術

頭蓋骨を拡く取り除いて、脳の奥の方(延髄、脳幹など)に脳浮腫の影響が及ばないようにする手術です。脳梗塞に限らず、脳浮腫が酷くなりそうな場合にも行うことがあります。一般的な開頭術を行う場合、大きく開頭してそのまま骨を戻さないことで対処することがあります。取り除いた骨は、無菌的に保存して、脳の状態が落ち着いたら、再手術で戻します。

血行再建の手術

1. 頸動脈内膜剥離術

軽い脳卒中で発症したり、目がカーテンを掛けたように暗くなるなどの軽い症状で、たまたま見つかった頸動脈(首の頸の下あたり)の狭窄の患者さんに行います。大体、60~70%以上の狭窄の人に適応です。頸動脈を露出して、縦切開をして、溜まった粥状硬化(コレステロール、血栓など)を除去します。

2. 浅側頭動脈-中大脳動脈吻合術

適応が難しいのですが、諸検査で脳血流が不足しており、補充すると症状が改善される可能性があると判断された患者さんに行います。

3. 頸動脈と中大脳動脈を、橈骨動脈(腕の血管)を使って繋ぐ手術

急に内頸動脈を止めなければ病態が悪化すると予想される時のバイパス手術です。

思いっくままに手術を列記しましたが、最近では血管内手術といって、カテーテルを用い、動脈瘤を詰めたり、ステントという形状記憶合金で血管を拡げたりする手術もあります。

当院では脳血管内治療指導医と常時連絡が取れ、当院で招聘治療が可能です。ただ、急性期治療には間に合いませんので、残念ながら行っておりません。基本的に脳血管障害を専らとしますので、患者さんのお付き合いは、脳卒中発症後ということが多いのですが、その折には、当院で最新治療を行う準備があることを紹介いたしました。

正月早々、物騒な話で恐縮ですが、時節柄、何かの参考になればと思います。

より良い病院をめざして

■□■ 訪問看護ステーション ■□■



明けましておめでとうございます。私ども訪問看護ステーションは、平成9年3月に開設し、おかげ様で昨年無事10周年を迎えることができました。当初3人の看護師で夢中で始めた訪問看護ですが、10年の間に介護保険制度が始まり、療養の場が住宅・病院・施設と選択肢が広がる中、「訪問看護」が広く認知されるようになり、現在では理学療法士を含め、総勢18名の大所帯となりました。

「難病も子供もお年寄りも、困っているならすぐ行こう」を理念に、頂いた依頼を断らず、夜間・休日の緊急訪問も行い、地域の方々が安心して在宅療養を送っていただけるよう、職員一同日々頑張っております。事務所も病院正面玄関よりすぐ見える場所に移転し、お立ち寄り頂きやすくなりました。在宅療養に関するあらゆるご相談を受け付けておりますので、お気軽にお越し頂きたいと思っております。開設11年目となる今年には、より一層良い看護サービスが提供できるよう、職員一丸となって頑張る所存です。今年も宜しくお願い致します。

「在宅で療養される皆様の不安を24時間受け止めよう」

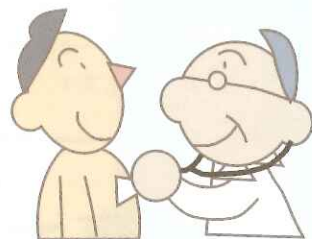


ご存知ですか

既にご存知かもしれませんが、平成20年4月から生活習慣病予防の徹底のために、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診断である特定健康診査・特定保健指導が始まります。

今までは個別の検査項目にて早期発見・早期治療を健診の目的としており、その後は医師の指示のもとに精密検査や治療、糖尿病や高血圧といった病気ごとの指導が中心でした。しかし、特定健診・特定保健指導ではメタボリックシンドロームやその予備軍を見つけ、指導に重点を置くことで

改善・予防をしていくこととなります。内臓脂肪型肥満に加え、血圧・血糖・脂質など軽度の異常でも、リスクが重なることで生活習慣病が発症・進行することもわかってきています。忙しくて時間がないとは思いますが、今現在健康でも、健診を受けない間に生活習慣病が進行しているかもしれません。これからは毎年受診されることをお勧めします。



お問合せはこちらまで
健康管理課 TEL 048-684-7111 (代表)

訪問介護

ホームヘルパーがご自宅まで訪問し、介護や家事援助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

○身体介護：食事の介助 / 入浴・更衣の介助 / 身体清潔 / 排泄の介助やおむつ交換 / 体位交換の介助 / 通院・外出の介助

○家事援助：掃除や整理整頓 / 洗濯 / 買い物 / 布団干し / 食事調理・配膳・片付け など

お問い合わせは・・・

東大宮ヘルパーステーション

☎ 048-688-5025 (直通)

訪問看護

看護師がご自宅まで訪問し、療養上の世話（看護）や診療の補助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

健康状態の観察と助言 / 清拭、洗髪や入浴の介助 / 褥瘡などの処置 / 療養環境の整備 / 留置カテーテル、各種医療機器の管理と指導 / 介護者の健康管理と精神的支援 / かかりつけ医の指示による処置・検査 / 理学療法士によるリハビリテーション など

お問い合わせは・・・

東大宮訪問看護ステーション

☎ 048-688-8388 (直通)

医療相談

病気やけがをすると、健康などには考えなかった不安や心配事、患者さまやご家族の経済的・社会的な問題が起こってきます。そんなとき、当相談室をご利用ください。

たとえば・・・

- 当院の回復期リハビリ病棟の利用について
- 社会福祉制度（介護保険など）や施設、専門病院などの利用について
- 健康保険・年金など社会制度について
- 治療費や入院費、残された家族の生活費など、経済的な心配について・・・など

お問い合わせは・・・

東大宮総合病院

☎ 048-684-7111 (代表)

医療相談室

当院の

数字アラカルト

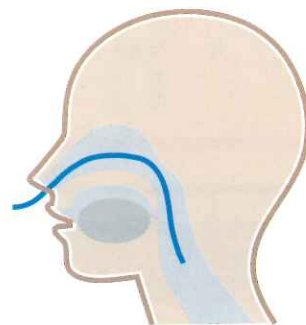
外来患者数	772.2人/日
入院患者数	261.2人/日
在院日数	15.2日
ベッド稼働率	82.4%
救急件数	245.7件/月
訪問看護	714.0件/月
訪問介護	517.3件/月
訪問リハビリ	152.3件/月

平成19年9～11月平均

鼻からの内視鏡をご存知ですか？

一般的に口から行う経口内視鏡（胃カメラ）検査では、喉の奥にある舌の付け根（舌根）にスコープが接触するため、咽頭反射が起きて吐き気をもよおします。一方、鼻からの内視鏡検査「経鼻内視鏡」では、直径約5mmと鉛筆より細かいスコープを用い、舌根に触れることなく食道や胃に到達するため、不快感・吐き気をほとんど感じることなく検査を受けることができます。また、検査中、医師との会話も出来る安心感もあります。しかし、鼻腔の狭い患者さまには不向きな場合もあります。

当院内視鏡室では患者さまのご意見やご要望に沿えるように経鼻内視鏡を導入し、内視鏡の選択を可能にしました。ご希望の方は、担当医へお気軽にご相談ください。



編集後記

あけましておめでとうございます。今年はホームページのリニューアルをする予定です。皆さまにより良い医療の情報提供を第一に制作していきます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

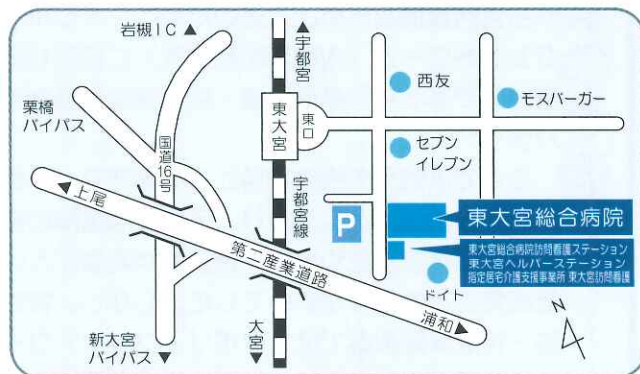
医療法人社団協友会



東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614



JR宇都宮線「東大宮」駅 下車
東口より徒歩3分